

- ▶ 泉佐野市では、森林経営管理制度に基づく森林整備をする方針。
- ▶ 令和元年度は、譲与税は全額積立を行ったが、令和2年度においては、以下の取組を実施。
 - 森林面積約1,970haの現状を把握し、森林整備の優先順を設定するためのゾーン分けをした。
 - 同時に、緊急に整備が必要な危険森林の抽出をした。
- ▶ 令和3年度においては、優先順位に従い森林経営管理制度に基づく意向調査、及び危険森林の整備を行うこととしている。

□ 事業内容

1 森林区分業務

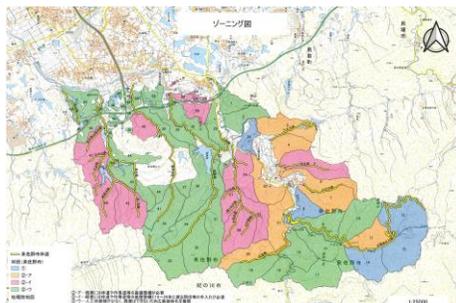
【事業費】1,696千円（うち譲与税1,696千円）

【実績】

市内の森林の状態を確認することから、森林のゾーン分けを行った。森林の状況により、1. 既存の事業による整備 2. 成長林の伐採、植樹 3. 未成熟林の間伐育成 4. 広葉樹林化を促進（自然林に戻す）の4種の区分に分け整備の優先順位の設定をした。同時に危険森林の抽出を行った。

【成果品】

ゾーニング図、危険森林図、林相区分図、諸元リスト、優先順位一覧表



（事業1：ゾーニング図）



（事業1：危険森林図）

□ 事業スキーム

1 森林区分業務

市 ⇒ 委託 ⇒ 大阪府森林組合

□ 工夫・留意した点

- 優先順位の設定については、今後の林業経営として木材の価値を高める必要があるため、区分3. 未成熟林の間伐育成の整備から始めることとした。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	10,202千円
②私有林人工林面積（※1）	874.08ha
③林野率（※2）	35%
④人口（※3）	100,966人
⑤林業就業者数（※3）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より